

大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	大学体育授業における、異文化感受性と心身に与える影響の 関係について			
分 野	身体・体育教育学			
キーワード	大学体育・異文化感受性・留学生・文化的多様性			
研究者名・職位	飯野裕子・講師			
所 属	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科			
研究シーズ概要	本研究は、大学の体育授業を通じて、異なる文化背景を持つ人々が互いを理解し、深くつながるための方法（異文化コミュニケーション）を模索するものです。 グローバル化が進む現代において、言葉の壁を越えた交流の重要性はますます高まっています。そこで本研究では、スポーツや身体を動かす活動が持つ「言語に頼らない共通のルール」や「感情の共有」という特性に着目しました。ただ体を動かすだけでなく、ペアワークやチームスポーツ、自己を振り返る「リフレクション（省察）」を組み合わせることで、学生たちが自然と他者を受け入れ、多文化への理解や感受性を高められるような独自の教育アプローチを開発・実践しています。 アンケートやデータ分析に基づき、学生の心理的な変化や効果的な手法を検証することで、大学の授業にとどまらず、子どもから大人まで幅広い年代に向けて、地域社会の多文化理解や、多様性を認め合う社会づくりへの貢献を目指しています。			
進捗状況	着想・構想段階	基礎研究段階	実証段階	
連携研究の 範囲・方法	◆現在行っている大学授業における検証結果に基づき、「身体運動を通じた多文化交流プログラム」を企画・実施します。参加者の意識調査や行動分析を共同で行い、地域コミュニティの活性化に向けた効果検証を進めます。			
用途・効果 ・市場	◆開発した交流プログラムを、企業の CSR 活動（社会貢献）、自治体の多文化共生イベント、地域のスポーツフェスティバル等で活用します。また、企業の社員研修への応用も想定します。			
研究者の 業績等	◆The relationship between Intercultural Development Inventory, class reflection, and student condition among international university students in Japan 2025 年 4 月発行 Journal of Physical Education and Sport Vol.25(issue4) pp. 929-93 ◆多様性を有する学生と対象とした大学体育の在り方の検討ー「異文化感受性」論を考察視座にー			

連絡先	大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室 TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2809) FAX : 072-875-6551 E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
-----	--